

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 パーキンソン病患者におけるヘリコバクター・ピロリ感染症のレボドパ製剤の体内動態および運動合併症に及ぼす影響の検討

【研究責任者】 齊藤勇二、病院脳神経内科診療部

【本研究の目的及び意義】

本研究の目的はパーキンソン病患者さんのピロリ菌感染およびそれに伴う胃炎におけるレボドパの血中動態の差、および運動合併症の頻度・程度の関連性を多数例で明らかにすることです。臨床検査施設への血液由来試料(血清・血漿)の提供はバイオバンクでの個人情報を削除した状態で行います。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

当院に2004年以降、パーキンソン病の診断・治療などを目的にした患者さんで、レボドパの血中濃度測定検査(倫理承認済み「L-dopa製剤の薬物動態に影響する因子の検討」)を受け、倫理承認済みの事業「ナショナルセンター・バイオバンクの検体収集体制の構築」にて生体試料提供に同意した方。

利用する試料・情報等

試料：血液由来試料(血清・血漿)

情報等：診断名や性別、年齢などの診療録をもとにした臨床情報

研究期間

2019年6月27日より2021年3月31日まで

研究資金

本研究は、運営費交付金(精神・神経疾患研究開発費)「若手臨床研究グループ」活動奨励研究費(研究代表者 齊藤勇二、期間：2019年4月1日～2020年3月31日)、で賄われ、特定の企業からの資金は用いません。また、本研究に係る全ての研究者及びその配偶者などの家族は、本研究に関連する企業との間に経済的利害関係、雇用関係は一切ありません。従って、研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果及び解析等に影響を及ぼすことはありません。本研究に携わる研究者等は、いずれも利益相反状態にないことを確認しています。

2019年12月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

メディカルゲノムセンター バイオバンク研究窓口

〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

042-341-2712(内線)7914 biobank@ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

作成年月日：2019年12月27日 第1.1版

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)